

卯

大崎上島

広報

osakikamijima

No.94
2011
平成23

1

Contents・目次

新年に臨む町長に聞きました……	2～3
海里山、地域の再生へ……	4
高齢化社会「ラクラク安心、スイスイ移動」を目指して……	5
島の News……	6
英語にチャレンジ……	7
ハイスクールレポート……	8
きょういく大崎上島……	9
差別のない明るい大崎上島地域に……	10
消費生活情報……	11
ヘルシー愛ランド（健康）……	12～13
確定申告の準備を始めましょう……	14
お知らせのページ……	15～17
まちのわんぱくちゃん……	18

■ まちの人口と世帯数

（2010年11月末現在）

人 口 8,579人

男 4,015人

女 4,564人

世帯数 4,373世帯



■ 今月の表紙 【卯 ～2011年～】



明けましておめでとうございます。

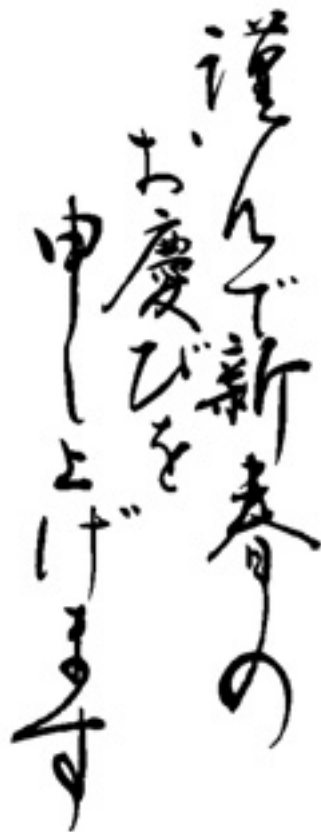
皆様はどのようなお正月を迎えられましたか？

新年を迎えると、どこか身の引き締まるような、何とも言えない緊張感があります。そのためか「初心、忘るべからず」という言葉が頭に浮かびます。これは、世阿弥が「花鏡」の中に綴った言葉です。

年初に立てた抱負も、いつの間にやら忘れ去り、振り返ればただ時が過ぎただけということはよくあること。世阿弥は、そんな日常において自分の進む道を究めるには常に自分を意識し、その時々自分を客観的に見つめることが必要だと認識していたのでしょうね。

「初心、忘るべからず」

今年こそ、立てた抱負を忘れずに一日一日を大事に過ごし、人とのつながりを大切に暮らしていければと思います。2011年、今年はどんな年になるのか楽しみですね。



大崎上島町長

藤原 正孝

—— 昨年のうれしかったこと、喜ばしく思ったことを聞かせてください

この一年、町内各地で皆さんの創意に満ちた自主活動が見られました。若者が中心となった冒険「旅する権伝馬」は、町内外でずいぶん話題になりました。大串で高齢者サロン「よってみんなさい屋」を運営しているレッド・レディースは、その画期的な活動が認められ、広島県の「いきいき地域づくり賞」を

受賞しました。

また、NPO法人「かみじまの風」と「大崎上島ながいき委員会」の計画が揃って『瀬戸内 海の道構想』実証事業に採択されました。これら地域課題への果敢な取り組みは、他からも注目されています。自ら考え行動する活動の担い手が育っている、その土壌ができてきたのがうれしいですね。何よりの財産です。

—— 合併から8年、この間の変化をどう見ていますか

「島ひとつ町ひとつ」を掲げて、平成15年に3町が対等な合併をしたわけですが、名実ともにひとつになってきたなと実感しています。大崎上島町民としての一体感、連携力がついてきました。これには、地域エゴに終始することなく全体調整を優先とする町議会議員の皆さんの姿勢も大きいと私は見ています。住民の皆さんには、地域の独自性を大切にしながらも、共に大崎上島町を盛り立てていくという意識の高まりや、まとまってがんばろうという姿が随所で見られ、たのしく思います。

—— どんなまちづくりを目指していますか

住んでいる人がいきいきと安心して暮らせる町です。親密なコミュニティ、豊かな自然と調和した人々の暮らしを大切に考えています。そのために、福祉の充実、健康づくりの

新しい年に臨む、大崎上島町長に聞きました

推進、医療連携体制の確立、公共交通の整備などに取り組んでいます。合併時、先駆けて全町にインターネット環境の整備をしたのも情報格差をいち早く解消し、町民の生活の質の向上をねらったためです。

観光や定住促進も、いま住んでいる人の暮らしづくりと一体に行われるべきと思います。合併時に新町建設計画（平成15年から10カ年）を策定しました。一部に先送りしたのもありますが、概ね計画どおりに実現しています。一例ですが、小中学校校舎の耐震工事がすべて完了しているところは他にあまりないと思います。

要望はたくさんありますが内容の精査と選択、優先順位に基づいて計画的な施行をしなければなりません。

——過疎振興・離島振興の方向性は

過疎化は、高度経済成長期を経て築かれた社会・経済の構造から生じた問題、国全体の問題です。一過性の事業で一足飛びに解消されるというわけにはいきません。将来を見通した持続的な手立てが必要です。

人口が減り高齢化がすすむ。これは社会的な現象です。これを憂い嘆いていても何にもなりません。現状を冷静に受け止めて、今いる人の暮らしをどう支えていくか、今できることは何かについて、真摯に向き合いたいと思います。

わが国の食料自給率は危機的な状況と云われています。安全性や安定的供給を考えると地産地消が望ましい。経営耕地面積は減少していますが、島の農産物自給率は都市部よりずっと高い。業としての農を離れても、家庭菜園づくりが高齢者の生きがいとなっていた

り、ここへ移り住む人にとっては農的な生活が贅沢だったりします。ここでの暮らしの価値や意味を、改めて見直してみるのもいいかもしれませんね。

——町の産業についてどう思いますか

こんなに長い不況のなかで、町内の企業は雇用の維持に努めてくれていると思います。地場産業の活性化は町の振興の鍵と考えています。なかでも造船の若手技術者不足は気がかりです。誇るべき大崎上島の造船技術を何とか継承したいものです。

農業では、施設野菜生産を中心に若手の意欲的な取り組みに期待しています。国は経営の大規模化を推進していますが、島の段々畑ではそれが叶わない。機械化もすすめにくく生産性も上がらない。けれども、農地を維持確保していくという視点からは零細農家への支援が望まれます。

——これから求められるものは

地域主権とは、自分たちで考えて自らの地域を作り上げること。どんな地域でありたいかをしっかりと議論し、そのために知恵と力を出し合い、大崎上島地域としての自治力がつければ、この先さらに広域合併が進もうと恐れることはありません。

これからもっと必要なのは広い連携と協働です。自分たちだけでは解決できないことも、他と連携することで実現の可能性が広がります。主体性をもって誰（どこ）とどうつながるか。官民間問わず、求められています。

——町のよいところ、遺したいもの、もっと活かしたいものは何ですか。

瀬戸内海は世界に誇るべき素晴らしい資産

です。町の景観や環境について考えるとき、瀬戸内海全体を見るという視点を外せません。それから、やはり人です。医師不足の時代に、わが町では各地域にドクターがいます。後継者もあり、それぞれ地域医療に熱心に取り組んでいただいているのが有難いことです。このほか福祉、経済、文化などあらゆる分野で、一人ひとりのためまぬ努力と営みによって町が支えられていることを感謝しています。架橋は悲願ではありますが、「橋の架からない島」をわが町の特異性として活かす道を探るところから、新たな可能性が開けると思っています。

——町の皆さんにひとこと

どなたにもよい年でありますように。今年もよろしく願っています。





海里山、地域の再生へ 生活文化をたどると、これからが見えてきます

印南 敏秀（愛知大学大学院 文学研究科 教授）

昨年11月、大崎上島文化センターで「瀬戸内海沿岸部の海里山の歴史と文化」（NPO法人「かみじまの風」・九州大学応用学研究所等共催）をテーマに、シンポジウムと民俗学者宮本常一の記録写真展が開催されました。シンポジウム当日、「文化資源としての藻と松」と題して講演した印南敏秀さんは、大学生の時から宮本常一に師事し、共に瀬戸内海の沿岸部や島嶼の調査研究を続けてきました。生活文化から考える地域づくりについて聞きました。

シンポジウムでは、藻と松を通して瀬戸内沿岸部の人々の生活文化の発見を試みたわけです。

かつて瀬戸内沿岸部では、藻と松は生活のなかで幅広く活用され、どこにでもふんだんにありました。ただし自然のまま放置したのではなく、採り尽くさないように共同体で管理し、持続的に活用していたのです。ところが化学肥料やプロパンガスなどを使うようになって、長い間肥料や燃料として生活をささえていた藻や松は、急速に失われました。沿岸部の人々には、あまりにあたりまえすぎたのと、科学知識偏重のなかで、経験知の大切さを忘れてしまったからです。

「海に種まく漁民」で広く知られている日生漁港の、アマモ再生の取り組みの始まりは、定置網漁師の「魚は獲れなくなったのは、藻が減ったからではないか」というつぶやきでした。いつも海を見ていた漁師の経験知が、アマモと海産資源の密接な関係性に気づかせたのです。生活文化のなかで生まれた「経験知」をもっと大切にすべきだと思います。

宮本先生は全国の離島・山村を歩く先々で、民具を集めなさいと勧めました。文化財として位置づけよというわけではありません

ん。民具を通して昔の人の生活を知り、昔の人々が暮らしをよくするためにどんな工夫や知恵を働かせていたのかを学んでほしいと願っていたのです。それが、さらには人づくりにもつながるからです。民具を調べたり記録したりすることを通して、地元への愛着や興味が湧いてきます。民具は具体的な対象で、生えぬきの島人もU・Iターンの人もいっしょに取り組み、互いに学び合えるのです。また弓削島の女性グループが、はじめてお年寄りの話を聞いて記録した報告書を読みましたが、地域の特性が見えて興味深いものでした。

地域づくりを考えると、目標とする『生活』をどこに置くのかを定めることも大切になります。おおいに議論することが大切ですが、地域の特性を活かすのが鍵です。その特性は生活文化の中にこそめられているのです。そのためには身近な生活文化の掘り起しが重要なのです。

宮本先生は晩年、故郷周防大島で郷土大学を始めました。志半ばで急逝されましたが、「これから島をどうしていくかの足がかり」としたかったのです。地域づくりは場所や時代によって手法が異なります。地域をよくするために、島民自らが難しい課題もあきらめずに地道に取り組むことが基

印南 敏秀（いんなみとしひで）
1952年愛媛県新居浜市の海辺に生まれる。武蔵野美術大学卒業。日本観光文化研究所、京都府立山城郷土資料館などを経て、現在愛知大学経済学部教授。主な著書に『石風呂民俗誌』『島の生活誌』（山口県東和町）、『瀬戸内諸島と海の道』（共著、吉川弘文館）、『瀬戸内の海人文化』（共著、小学館）、『瀬戸内海事典』（編著、南々社）、『里海の生活誌』（みずのわ出版）などがある。



月の浦のアマモ（生野島）
撮影：岡田 和樹（ハチの干潟調査隊）

本です。そこに大島を愛する旅人が気軽に立ち寄って交流する、そんな大学を故郷につくりたかったようです。
ところで先の大崎上島訪問の際、月の浦（生野島）のアマモの豊かさに驚きました。今や瀬戸内海の藻場はどこも瀕死の状況だというのに。これを生かささない手はないように思いますが、どうでしょうか？

高齢化社会「ラクラク安心、スイスイ移動」を目指して

高齢化や島の交通問題など。産官学連携で、これら地域課題解消に取り組む動きが活発になっています。ここでは、先の町民支援セミナー（昨年10月31日開催）での研究発表と講演の内容をお伝えします。

おと姫バスの有効利用に向けて

岡山 正人さん

（広島商船高等専門学校 流通情報工学科 教授）

高齢者のモビリティ（移動のしやすさ）の確保を目的に、平成17年から運行を開始した「おと姫バス」。本校では、このコミュニティバスの運行や存在意義に関する研究と満足度の向上に関する研究を行っています。昨年11月に実施したアンケート調査（18歳以上対象、300のうち264票回答）結果によると、おと姫バスは、「島のイメージアップや活性化」にも貢献していると考えられていることが見えてきました。ほとんどの人が「必要」と認めており、その過半数が「将来自分や家族が利用するかもしれないから」を理由としています。

運行にかかる経費（2008年度）は約2,400万円。うち運賃収益は500万円で残りは町費負担です。長期的な継続には、収益のアップと合わせて町費負担の軽減を考えることが必要です。アンケートでは、おと姫バスの廃止を仮定して、年間いくらなら寄付してもよいかを問いました。その結果は一人当たり平均2,121円、これは他の地域のバスと比較しても高い金額で、町民がおと姫バスの経済価値を高く評価していることが伺えます。

昨年度、学生たちが時刻表を作成しました。利用しやすさの向上を考えたものですが、さらなる要望に応じて今年度はポータブル時刻表づくりに取り組んでいます。利用者の声を反映した使いやすいものが出来上がる予定です。お楽しみに。今後ご意見を聞きながら改善・進化させていきたいと考えています。

それから、大崎上島のお出かけ情報案内システム「しまナビ」を開発し、バスの中でバス停近くの主要施設や交通機関に関する情報をリアルタイムに見られるようにする計画が始まっています。ゆくゆくは観光客の利用にもつなげたいです。ご期待ください。



大崎上島一竹原のフェリー航路のありかた

田中 康仁さん

（広島商船高等専門学校 流通情報工学科 准教授）

本校の学生たちが、持続可能なフェリー航路のありかたを探る研究をしています。人口の減少や大崎下島への架橋開通による影響等で収益の減少に悩む運航業者が、サービスを低下させないで事業を維持するにはどうすればよいか。フェリー会社へのヒアリング（聞き取り）と利用者の意識調査を行いました。利用者は、より安く、便数を多く、最終便を遅くと望んでいます。同等要件の他の航路と比較してみると、人の運賃は同程度かやや低め、車両はやや高め、便数は多いほうだと言えます。ただし車両でない乗客にとっては、大崎上島側の港が2つに分かれていることが使い勝手に影響しています。

利用状況を見ると、約半数の便が3分の2の大きさの船でも運航が可能と見られ、フェリーサイズの縮小化を改善策の一つとして提案しました。

今後の課題として、①他の交通機関との連携強化を検証する。②フェリーの運航に関して事業者と住民の相互理解を図る。③2つのフェリー会社間の連携。④島民割引の検証を行う必要があると考えます。広島商船も引き続きお手伝いしたいと思っています。

『老後の備えは』、元氣なうちから

民宅 弘典さん

（広島県行政書士会尾道支部 副支部長）

亡くなった人の財産は、法定相続人に相続されます。複数いる場合は分割相続されます。家だけが遺された場合、最悪売却しなければなりません。子どものない夫婦が配偶者にすべて譲る場合や、息子の嫁に分けてあげたいときなどにも遺言が必要です。子孫へ真心を遺し円満な相続手続を実現するためには、公正証書遺言をお勧めします。気になる相続税ですが、遺産総額が6千万円未満ならかかりません。

老後の備えは、自分の将来のために「貯めたお金をどのように使いたいか、事前に決めておくこと」です。ご自身の病気の治療費だけでなく、子どもが近くに住んでいない場合、あるいは自宅の管理や自身の療養看護、施設の入所について誰に頼むのか？という老後の人生設計が大切となってきます。体が不自由になったり、判断能力が衰えたりしたときに備えて自らが後見人を選ぶ「任意後見制度」も、ぜひ知っていただきたい情報です。

自分の内面を見つめて

12月6日(月)、大崎上島中学校で開催された人権教室の中で、第30回全国中学生人権作文コンテスト広島県大会及び竹原地区大会の伝達式が行われ、上位入賞の3人が賞状を受け取りました。(敬称省略)



【中央大会

法務省人権擁護局長賞】

【広島県大会最優秀賞】

大政 和 (大崎上島中3年)
作品「障害者のこと、どう思う？」



【広島県大会奨励賞】

小坂はるな (大崎上島中3年)
作品「最低な人間」



【竹原地区大会優秀賞】

水井 歩 (大崎上島中2年)
作品「やさしさへのスタート」

平成22年(2010)秋の褒章受章



大崎上島町選挙管理委員会委員長の吉本泰一郎さん(中野)が、永年にわたり公正な選挙の管理執行と明るい選挙の推進に寄与した功績により、2010年秋の褒章「藍綬褒章」を受章されました。

平成22(2010)年秋の叙勲受章



元大崎上島町議会議員の土井田聖次さん(原田)が、永年にわたり議会議員として地方自治の発展に寄与した功績により、2010年秋の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。

広島県老人クラブ連合会会長表彰を受賞



11月30日(火)、広島県社会福祉会館(広島市)にて広島県老人クラブ連合会会長表彰が行われ、大西長寿会会長の長岡英三さん(中野)が、表彰されました。

島のNews

身も心も鍛えています

11月28日(日)、明王台小学校体育館(福山市)にて、第33回糸東流空手道広島県競技大会が開催されました。

大会成績は、次のとおりです。(敬称省略)

小学校5・6年生女子組手試合	優勝	平本 子々
小学校3・4年生男子形試合	準優勝	山崎 竜弥
小学校3・4年生男子組手試合	3位	福井 達也



世羅町と交流 ～公衆衛生協議会～

11月4日(木)、東野文化センターにて大崎上島町と世羅町の公衆衛生推進協議会が交流を行いました。交流会では、互いの取り組みなどについて意見を交わし、アイドリングストップ運動の視察を行いました。



宝くじの助成金で備品を整備しました

東原下区と片浜区は、宝くじ助成金事業を活用して、集会所の備品等を整備しました。新しくなった備品を活用し、今後益々コミュニティ活動が盛んになることが期待されます。



Happy Thanksgiving ～感謝祭～

Hello Osakikamijima!

November 25th has come and passed and that means so has Thanksgiving. Last year, I had almost no reason to celebrate Thanksgiving : no family to share it with, and none of the traditional foods for the special day. But this year, Akimi and I searched around in Hiroshima for Thanksgiving groceries. We also looked up many recipes on the internet. It turned out great!

Of course we couldn't find any turkey (the main dish in a Thanksgiving dinner) but we were able to pull together a nice meal. This included : a roasted chicken thigh, mashed potatoes and gravy, stuffing, corn, broccoli and cheese, string beans, creamed onions, black and green olives, and deviled eggs. Deviled eggs are hard-boiled eggs that are cut in half. Then the hard yolk is mixed with mayonnaise, mustard, salt, pepper and a little vinegar. They are very tasty. Ask Akimi! We also bought some small pies.



今年の感謝祭の食事



手前がデビルドエッグ！

I wanted to share a little history about Thanksgiving (and some shocking news). Thanksgiving is basically a remembrance of the help of the Native Americans when the first people settled in America. They taught us how to grow corn and harvest a lot of food to live through the harsh winters. The recent news America found out is that the Native Americans helped us to catch many eels. The fatty, nutritious eels were very important to our diets in the winter. In contrast, today, America ships most of the eels we catch to Japan. Isn't that crazy?

Well, Seeya later!

Daniel

こんにちは大崎上島！

11月25日が来て過ぎていく、これは感謝祭を意味します。昨年、私は感謝祭を祝う理由がほとんどありませんでした。なぜなら、その日を共に祝う家族はいなかったし、これといった伝統食材もなかったからです。しかし、今年、アキミと私は、一緒に感謝祭の食材を広島中で探しました。さらに、インターネットで多くのレシピも検索しました。とても素晴らしい経験になりました。

もちろん七面鳥は全く見つかりませんでした（七面鳥は感謝祭のメインディッシュ）が、私たちはいい食事をそろえることができました。ローストチキンのもも肉、グレイビー（肉汁で作ったソース）、マッシュポテト、詰め物、コーン、ブロッコリー、チーズ、インゲン、玉ねぎのクリームソース和え、緑と黒のオリーブとデビルドエッグ。デビルドエッグとは、固ゆで卵を半分に切り、その上に黄身の部分をマヨネーズやマスタード、塩、こしょうと少量のお酢で和えたものを乗せたものです。これはとても美味しいです。アキミに聞いてみてください。私たちはさらに、小さなパイもいくつか購入しました。

私は感謝祭のちょっとした歴史を分かち合いたいと思いました（それといくらかショッキングなニュースも）。感謝祭は、アメリカ大陸に人々が移住した際に、ネイティブアメリカン（アメリカ大陸の先住民）が手助けしてくれた時の記憶です。彼らは私たちに厳しい冬を生き抜くためのトウモロコシの育て方や多くの食糧の集め方を教えてくれました。最近のアメリカのニュースでは、先住民たちは移住してきた人々にウナギの漁法を教えていたそうです。脂肪分を多く含み栄養満点のウナギは、冬の間の貴重な食糧でした。これとは対照的に今日では、アメリカ産のウナギのほとんどは日本に輸出されています。何かおかしくありませんか？

では、また今度。

ダニエル



帆船の広島港寄港イベントに協力

11月20日(土)、21日(日)、帆船「日本丸」の広島港寄港に伴う歓迎イベントとして、本校の練習船「広島丸」と地域の協議会が連携し、海上から帆船を見学する体験航海を行いました。2日間の午前・午後を4回に分けて小中学生及びその保護者約450名を招待しクルージングを行いました。帆船「日本丸」の帆を広げる訓練(セイルドリル)を間近で見学し、広島丸に乗船した小・中学生からは歓喜の声があがりました。



企業合同説明会を開催

12月3日(金)、広島商船高専産業振興交流会及び本校地域交流・共同研究センターが主催し、商船学科・電子制御工学科・流通情報工学科4年生と専攻科1年生を対象に、キャリア教育の一環および求人情報を提供する事を目的とした企業合同説明会を開催しました。高度な専門教育を受けた高専学生には県内外の企業からの注目も高く、地域の産業界からの要望を受けて今回初の開催となりました。

説明会は、第1部として各分野の企業4社から「社会が求める人材と心構え」についての講演会を実施し、第2部では7社の企業ブースを設置し個別説明と質疑応答を行いました。当日は、大崎海星高校と竹原高校からも教員・学生の参加があり、参加者は採用担当者等からの企業の概要説明や求人情報等に熱心に耳を傾け、盛況のうちに終了しました。



3年連続 中国大会出場!【弓道部】



第46回広島県高等学校弓道新人大会が、11月6日(土)・7日(日)に県立総合体育館弓道場で行われ、1年の望月聖由さんが女子個人4位に入賞。島根県で開催される中国大会出場を決めました。

本校弓道部からの中国大会出場は、3年連続となりました。

一人一人が主役の文化祭

11月13日(土)・14日(日)の両日、『第13回 文化祭』“輝け絆 ～一人一人が輝く舞台～”を開催しました。

今年からは初日も一般公開とし、英語スピーチやファッションショー、コーラスなどを地域の皆さんにも見ていただきました。



二日目は、和太鼓やバンド演奏、ソーラン踊り、生徒会企画、展示のほか、保護者の方々に参加いただき、食品バザーなどを行いました。大変盛り上がりのある文化祭となり、来校された地域の方々から、「素晴らしい文化祭だ」、「楽しい」とお褒めの言葉をいただきました。

生徒たちは、準備、ステージでの演技やバザー、そして裏方など、一人何役もこなし、この文化祭をみんなで協力し合いつくり上げることができ、一人一人がとても輝いていました。



「自ら伸びる東野っ子」～やさしく、かしこく、たくましく～

東野小学校では、「知・徳・体」のバランスのとれた子どもの育成をめざして、教育活動を推進しています。本年度も教育目標を『自ら伸びる東野っ子』～やさしく、かしこく、たくましく～とし、子どもたち一人一人が着実に伸びてくれるよう、充実した教育内容の創造に努めています。今回は、授業や行事について紹介します。

【教育研究会 ～かしこく～】

10月15日(金)に教育研究会を行いました。今年度も国語科を中心とした教育研究を行っています。「論理的に考える力を育成する国語科授業づくり」を研究主題に、副題を「説明的文章における『読むこと』『書くこと』に活かす授業づくり」とし、授業改善を図りながら日々の授業を進めてきました。参加された皆様には、その一端を見ていただきました。これまで学んだ手法を活かして書いた説明文を他学年児童が評価したり、作成したポスターを見せながらプレゼンテーションをしたりと学年間の交流も行っています。また、月ごとにつくった俳句等を校内掲示し、言語活動を豊かにする環境に努めるとともに、各種作品コンクールにもチャレンジしています。

【東野ふれあいタイム ～やさしく～】

11月5日(金)には、本校2～6年生が老人クラブの方に昔の遊び道具作りや遊び方を教えていただき、知恵を働かせることの大切さなどを学びました。遊びは、2年生「びゅんびゅんごま」、3年生「紙ひこうき」、4年生「ぶちごま」、5年生「竹でっぼう」、6年生「竹とんぼ」です。知恵を働かせて作ったり遊んだりしながら、昔からある遊びの楽しさを味わい、老人クラブの方と心のふれあいをさせていただきました。



2年「びゅんびゅんごま」



3年「紙ひこうき」



4年「ぶちごま」



5年「竹でっぼう」



6年「竹とんぼ」

【食育・保健指導 ～たくましく～】

体力テストで課題のあった握力・跳力をつけようと、サーキットトレーニング・50メートル走・鉄棒・登り棒・ハンドグリップなどに取り組んでいます。そして、食の大切さや生産にかかわる人々への感謝の心、食文化に関する理解等を学年に応じて学習しています。また、生活習慣の定着には「睡眠時間を十分にとる」ことがとても大切です。低学年は午後9時・中学年は9時30分・高学年は10時を就寝時刻とし、生活チェック週間には「生活振り返りカード」を利用し、保護者の協力のもと取り組んでいます。



平成22年度【第8回】11月25日(木)



教育委員会会議が開かれました。

議題

● 日程第1 報告14

第30回全国中学生人権作文コンテスト広島県大会及び竹原地区大会入賞作品の発表がありました。

【広島県大会】

最優秀賞 大崎上島中学校3年 大政和さん 奨励賞 大崎上島中学校3年 小坂はるなさん

【竹原地区大会】入賞(5名)

大政 和さん(大崎上島中3年)、小坂はるなさん(大崎上島中3年)、水井 歩さん(大崎上島中2年)

● 日程第2 議案第12号

町議会12月定例会に提案される教育委員会関係補正予算案について審議しました。

● 日程第3 協議第5号

大崎上島町奨学金について、現行奨学金貸付要綱の「貸付額等」について協議しました。

● その他

(1) 広島県市町教育委員研修会の報告

(2) 懸案事項について

(3) その他



教育委員の活動報告

平成22年度第2学期、教育委員の学校訪問を実施しました。

東野小学校	11月12日(金)午前中
大崎上島中学校	11月25日(木)午前中
大崎小学校	12月3日(金)午前中

差別のない 明るい大崎上島地域に

人権週間初日の12月4日(土)、童謡詩人 金子みすゞの詩に曲をつけて全国で歌い続けている「もりのいさむ」さんと、詩の世界を少しでも心に刻んでもらうようにとバックバンドに「こゆみこ」を招いて「金子みすゞのうた人権コンサート」～みんなちがって、みんないい～を大崎上島文化センターホール「神峰」にて開催しました。

コンサートのテーマ

「私と小鳥と鈴と」

♪私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地面を速くは走れない。私がからだをゆすつても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように、たくさん唄は知らないよ。鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。♪

アンコールで歌われた「明るい方へ」は、子どもたちが明るい方へ歩いていくようにとの願いが込められています。

♪明るい方へ明るい方へ 一つの葉でも陽のもとへ やぶかげの草は 明るい方へ明るい方へ 羽こげよと灯のあるところへ 夜とぶ虫は 明るい方へ明るい方へ 一分もひろく日の射すところへ 都会に住む子等は 明るい方へ♪

参加者の感想

- 金子みすゞの選ばれた15の詩に曲をつけ、もりのいさむさんの張りのある声がホールいっぱい響き心にしみわたりました。元気な子どもたちを先頭に、みんなが声を出し、体を動かして、みすゞの優しい心に近づいて自然に人権の大切さと命の尊さを教えられました。今年の人権の取り組みは大変楽しいものでした。
- パワフルなコンサートで元気をもらえました。
- 泣いたり笑ったりの素敵なステージで、命の大切さや思いやりの心を歌うもりのいさむさんのコンサートに参加できて本当によかったです。



民生委員・児童委員が 決まりました

平成22年12月1日より、次の方々が民生委員・児童委員に委嘱されました。

担当地区 名前 電話番号

外表	川本 映子	65-3-014
鮎崎	元樋 美穂	65-3-377
垂水	閑 正子	65-3-419
喜生野	平原美登里	65-2-233
盛谷	濱田 路子	65-3-620
白水	望月 祐輔	65-2-109
小原	向田 章子	65-3-659
上組	底押 正司	65-2-513
下組	末光 珠美	65-2-795
矢弓	渡邊 佳子	65-2-650
大田	谷口あつ子	65-4-059
脇之浦	松浦恵美子	65-2-315
山尻	森田 照美	64-4-014
東原下	古本 圭子	64-3-530
原下	黄木 弥生	64-3-540
本郷	是安三穂子	64-3-902
片浜	藤原 眞	64-2-366
大西	白井 洋子	64-3-531
大西	安藤 博子	64-3-272
向山	竹下 信子	64-3-042
向山	中村 雅子	64-4-126
瀬井	岡田共栄女	64-3-866
原田	正田 秋恵	64-3-240
原田	山本コマエ	64-2-729
原田	土井田和雪	64-2-734

担当地区 名前 電話番号

大串	大成 壽子	64-2-503
大串	砂田 光幸	64-2-786
岩白	原田 順子	62-0-108
宇五港	長尾 早苗	62-0-174
栄通	長尾 珠美	62-0-435
中央	松下 明美	65-2-215
元町	沖本 公徳	62-1-514
天五	小川 満子	62-0-158
天満・本通	井上 友子	62-0-727
野賀	福本真由美	62-0-316
上の谷	小笠原勝子	63-0-072
中浜	原田久美子	63-0-161
木越	藤岡三枝子	63-1-076
三里浜	正畑 美津	63-0-056
向浜	円光 俊幸	63-0-719
本浜	秋光 智文	63-1-016
岡部	松本 弘之	63-0-266

◆主任児童委員◆

平成22年12月1日より、次の方々が主任児童委員に委嘱されました。

担当地区 名前 電話番号

東野地区	新開 和子	65-4-091
大崎地区	山根 正純	64-3-037
木江地区	岸 和子	62-0-161

日常の生活に関する相談に応じます。
お気軽に声をかけてください。

☎ 福祉課(木江支所) 62-0302

警察官をかたる電話「カード預かります」は詐欺です！

【相談内容】

突然、警察官を名乗る人物から「振り込め詐欺の犯人を逮捕したが、あなたの口座が悪用されていた。このままでは預金が入らなくなるので、キャッシュカードを作り変える必要がある」と電話がありました。「新しいキャッシュカードを作るのでカードを預からせて欲しい。今から銀行協会の者をお宅に向かわせる。迅速な手続きのために、暗証番号を教えて欲しい」と言われ、暗証番号を伝えました。電話の最中に、身分証明書を首から提げた銀行協会職員を名乗る男が来たので、キャッシュカードを渡してしまいました。(70歳代 女性)



【アドバイス】

- 警察官をかたり、電話で暗証番号を聞きだし、銀行協会職員や銀行員などになりすました共犯者がキャッシュカードを受け取りに来て、預貯金を引き出される被害が増えています。電話中や電話の直後にキャッシュカードを取りに来るので、考えたり相談したりする時間もないうちに被害に遭っています。
- 警察官や金融機関職員などがキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞いたりすることは絶対にありません。それ以外でも、他人に暗証番号を教えることはできません。
- この手口の被害者のほとんどが、個人名を電話帳（ハローページ）に掲載していました。被害防止対策の一つとして、「116」に電話すれば電話帳への掲載をやめてもらうことができます。
- このような電話がかかってきたら、すみやかに電話を切り、警察に通報してください。

消費生活相談窓口

竹原市役所 1 階消費生活相談室 ☎0846-22-6965
月～金曜日 10:00～12:00
13:00～16:00

大崎上島町役場 総務課（本庁） ☎65-3111
奇数月の第 1 金曜日 10:00～12:00
13:00～15:00

— 竹原警察署大崎上島分庁舎からのお知らせ —

広げよう！安全安心 地域の輪！ ～日本一“安心・安全を実感できる大崎上島町の実現”～

新年あけましておめでとうございます！

竹原警察署大崎上島分庁舎では、今年も日本一“安全・安心を実感できる大崎上島町の実現”に向けて犯罪・交通事故防止活動に努めていきます。皆さんに、広報紙や防災無線を通じて犯罪・交通事故の発生情報や防犯対策情報を提供していきますので、引き続きご協力をお願いします。

1月10日は、“110番の日”

110番通報制度は、県民と警察を結ぶ絆として広く定着し事件・事故の早期解決に大きく貢献しています。しかし、いざ110番するとなると、事件・事故のことで頭がいっぱいになり、うまく話せないと思います。110番した場合、次のことを質問されるので、落ち着いてゆっくりと話しましょう。

110番通報した場合に聞かれること

- ① 事件ですか？事故ですか？
- ② そこは（場所）はどこですか？
- ③ いつ（何時）ですか？
- ④ 犯人の特徴と逃走方向は？
- ⑤ 被害の状況、様子は？

110番通報する時のポイント

- 電話をする前に、深呼吸して気持ちを落ち着かせて電話をしましょう。
- 相手の質問に、ゆっくり・はっきり・正確に答えましょう。
- 質問に対しては、簡単に要点をまとめて答えましょう。

110番通報は緊急電話です！

相談事は「**#9110**」をお願いします。

☎ 竹原警察署 ☎0846-22-0110

大崎上島分庁舎 ☎62-0110



県立安芸津病院より

☎0846(45)0055

こえん

誤嚥性肺炎と予防

県立広島病院 呼吸器内科・リウマチ科 土井 正男

誤嚥性肺炎とは、食物や水分を飲み込むときに間違って肺の方に入るために起こる肺の炎症です。この病気の“前ぶれ”は、食事中や食後に咳が出やすくなる、うがいや下手になるなどです。年をとったり、認知症や脳梗塞・脳出血を患うと、どんなに元気だった人でもこの“前ぶれ”が起こり易くなります。



一番の予防法は、食事中は必ず座位姿勢を保持することです。しんどいからといって臥位の（横になった）まま食事をするのは自殺行為です。食後も最低30分は臥位にならないようにしましょう。

次に、会話をしながら、テレビを見ながらなどの“ながらご飯”は止め、食事に集中しましょう。その際、食物はよく噛み、唾液と混ぜて柔らかい塊をつくり、少しあごを引いて“ゴクリ”を意識しながらその塊を飲み込むことが大切です。唾液が出にくい人は、乾燥した食物は避けるか、少量の水分とともによく噛んで柔らかい塊にすると上手く飲み込めます。虫歯・歯周病がある人や入れ歯が合わない人は、歯科を受診して口の中をきれいにしてもらったり、上手く噛めるように歯の治療や入れ歯の調節をしてもらうことも肺炎の予防になります。味噌汁などの水分でむせるときは、市販のとりみ付けを使用したり、むせないように1回に飲み込む量を加減したりしましょう。



最後に、急に声がかすれてむせるようになったり、上手く飲み込めなくなったりしたら、耳鼻咽喉科や消化器内科を受診して、のどや食道に病気がないか診てもらいましょう。

西部東保健所の相談会

●精神科医による、ひきこもり相談【予約制】

日時：1月13日(木) 13:30～

場所：西部東保健所 2階 保健相談室

●精神科医による、うつ病等専門相談【予約制】

日時：2月18日(金) 13:30～

場所：西部東保健所 2階 保健相談室

☎保健課保健対策係 ☎082-422-6911 内線2412

Iらんど便り

Iらんどは、障害者相談支援事業所です。

障がいのある方だけでなく、生活のしづらさを抱えている方、ご家族や地域の方からの相談に応じるとともに、この島で自分らしく、いきいきとした生活を送るためのお手伝いをしています。

相談方法 電話相談・来所相談・訪問相談

相談時間 月～金曜日 8:30～17:00

※相談は無料で、秘密は固く守られます。

相談先

大崎上島町生活サポートセンター

Iらんど（担当：三永）

☎64-4416 Fax67-5667

E-mail hureai-iland@osakifukushikai.jp

※電話は転送する場合があります。そのままお待ちください。



自立生活のお手伝い 料理教室（第5弾）を開催します！

今年最初の料理教室は「鍋パーティー」です。鍋は数種類作ります。あたたかい鍋を囲んで、皆でワイワイ楽しく過ごしましょう。

料理が苦手な人、作ったことのない人大歓迎です。障害者手帳のある・なしは問いません。どなたでもお気軽に参加ください。

※調理を手伝ってくださるボランティアさんも募集中です！



料理教室の様子



前回のメニュー

日時 1月23日(日) 10:00～13:30

場所 ふれあい工房（大崎美浜荘隣り）
大崎上島町大串3032-2

費用 500円

申込 1月18日(火)までに、Iらんど
電話・FAX・Eメールなんでも可

申込先 大崎上島町生活サポートセンター

Iらんど（担当：三永）

☎64-4416 Fax67-5667

✉hureai-iland@osakifukushikai.jp



管理栄養士のヘルシークッキング



年末年始のごちそうで体重増加が気になる。そんな時は、体を温めて代謝を良くしようかと食物繊維やビタミンが豊富な野菜を使ったどんぶりはいかが？冷めにくく工夫してあるのでゆっくり食べられておなかも満足！

変わりあんかけ丼

エネルギー449kcal、たん白質18.2g、脂質9.5mg、塩分1.5g

●材 料 分量（4人分）

ご飯（中盛）	4杯	豚もも肉	1/2パック
ムキエビ（冷）	60g	人参	1/2本
チンゲン菜	2株	白菜	2葉
しいたけ（中）	4個	白ねぎ	1/10本
しょうが	1かけ	ゴマ油	小さじ4
こしょう	少々	塩	小さじ1/6
水	2カップ	鶏がらスープの素	小さじ2
A 酒	大さじ2	砂糖	小さじ1強
濃口しょうゆ	大さじ1		

春雨	20g	卵	2個
片栗粉	大さじ2	水	大さじ2強

●作り方

- ① 白ねぎ、しょうがはみじん切りにする。
- ② 豚もも肉はひと口大の大きさに切る。
- ③ 人参は5mm幅の短冊切りにする。
- ④ チンゲン菜、白菜は3cm長さに切る。葉先とじくは分けておく。しいたけは石づきを切り、ひと口大に切る。
- ⑤ 春雨は水に戻し、3cm長さに切る。
- ⑥ 鍋にゴマ油を熱して、①のねぎとしょうがを炒めて、豚肉、ムキエビを入れて塩・こしょうをする。
- ⑦ 次に人参、チンゲン菜と白菜のじく、しいたけを加えて、鶏がらスープの素と水を加えて煮る。
- ⑧ 人参が煮えたら調味料Aと春雨、チンゲン菜と白菜の葉先を入れる。少し煮て、水溶き片栗粉を加え、最後にときほぐした卵をまわし入れ、火を止める。
- ⑨ ご飯を丼に入れ、⑧のあんをかける。

こんにちは、保健師です

今年も楽しい一年にするために



新年あけましておめでとうございます。

卯年生れの方は、温厚で愛嬌があり柔和な性格と言われたりします。卯年の性格のような穏やかな一年であるといいですね。

さて、一月・二月・三月は、「一月は往ぬる。二月は逃げる。三月は去る。」と言われるほど何かと慌ただしい時期です。こんな慌ただしい時ほど“ゆとり”が大切です。

“ゆとり”を生むヒントが「NPO 法人アスク」が発行している季刊誌「季刊 Be! 101号」に載っていたので一部ご紹介します。



《行動のヒント》

- 普段何かと急ぎがちな人は、ちょっと立ち止まる時間を持つ。
- 周囲に気を遣いがちな人は、一人の空間を確保する。
- 感情がたまったり、思考がぐるぐる回ってしまう時は、その場を離れたり、運動をすることで、気持ちが落ち着き、余裕が戻ってくる。

《考え方のヒント》

- 思ったほどうまくいかなかったとき、「まあ、いいか」「私も、まだまだだなあ」とつぶやく。
- 誰に言われたのでもない、自分がやりたいからやっている、と開き直る。
- 物事は、AかBかの二者択一ではなく、必ず、「第三の方法」があることを思い出す。
- どちらが正しいかにこだわらない。立場によって、正しさの基準も違う。
- 「絶対○○」「いつも○○」のような言い方をしない。
- できなかったことを数えあげる減点法ではなく、できたことを数える加算法でいく。
- すべてを完璧にしようとせず、優先順位を考える。

▶人間の心とからだはつながっています

ストレスがたまると、心もからだも緊張度が高まり、ともに固くなってきます。そんな時は「ストレッチ」が効果的です。ゆっくりと背伸びをしたり、肩や首を回したり、体を前後左右に動かすと、からだが柔らかくなるとともに、張りつめた心の緊張までも少しゆるんできますよ。ここで紹介したのは、あくまでも一例です。ご自分で自由にからだを動かしてみてください。



確定申告は、2月16日(水)～3月15日(火) 確定申告の準備を始めましょう！

詳しい日程は、
広報2月号に
掲載！

所得税・町県民税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の申告には下記のものが必要です。
準備をお願いします。 問税務課（本庁） ☎65-3114

申告に必要なもの

- 印鑑
- 源泉徴収票（給料、報酬、年金（※）、恩給がある人で所得税が記されたもの）
- 生命保険、地震保険、損害保険（長期）、社会保険料等の支払証明書
- 生命保険等満期支払通知書 個人年金等の支払通知書
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳など
- 国民年金保険料控除証明書
- 通帳（還付の場合、振込先のわかるもの）

※日本年金機構などから1月下旬に送られてきます。大切に保管ください。



税務署申告相談

営業・農業等の事業を行っている方や土地・建物・株の譲渡所得のあった方は、ご利用ください。

2月17日(木) 9:00～16:00 2月18日(金) 9:00～11:00
場所 東野文化センター 大ホール（役場本庁 2階）

農業所得を申告する方へ

農業所得の収支内訳書を作成してください。

収支内訳書は、役場本庁及び各支所、JA 広島ゆたか各支所に設置しています。

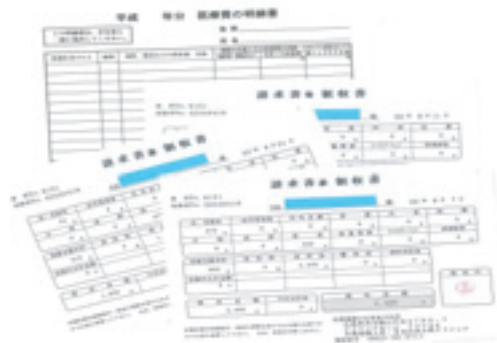
医療費控除を受ける方へ

世帯の1年間の医療費負担額が一定額（10万円または、所得が200万円以下の場合は所得額の5%の額）を超えるとき、その超えた金額を確定申告において医療費控除として所得税の控除が受けられます。

【医療費控除に必要なもの】

- 医療機関の領収書・レシート
（薬局のレシートの場合は、購入した品物がわかるもの）
- 医療費の補てんがあった場合は、その金額がわかるもの
- 交通費は、公共交通機関の運賃が控除額として認められます。

※医療費の明細を記入する用紙は、
役場本庁・各支所に設置していますのでご利用ください。



お願い

還付を受けるための簡易な申告は、1月からできることになっていますが、大崎上島町役場・各支所ではシステムの改修の関係で、2月14日(月)以降になります。
それ以前に申告を希望する方は、竹原税務署（☎0846-22-0485）へ直接お願いいたします。

新成人の皆さん 忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう

国民年金は、老後の所得保障だけではなく、病気やケガで重い障害が残ったりしたときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度で、国が責任をもって運営しています。

◆義務と権利

日本国内にお住まいの20歳から60歳までのすべての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

◆加入の手続き

学生や自営業者などの「**第一号被保険者**」となる方は、お住まいの市区町村役場で直接、手続きをしてください。

サラリーマンや公務員などの「**第二号被保険者**」の方や、その第二号被保険者に扶養される配偶者の「**第三号被保険者**」の方は、勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

◆保険料の猶予・免除

学生であるなど、収入が少ないために国民年金保険料の納付ができない場合は、申請により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となっていると、「万が一」のときに障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きますのでご注意ください。

「**学生納付特例制度**」は、所得がない学生の方のご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受け取ることができなくなることを防止するための制度です。その他、経済的な理由等により保険料の納付が困難な方のために、「**保険料免除制度**」や「**若年者納付猶予制度**」があります。詳しくは、お問い合わせください。

問三原年金事務所国民年金課 ☎0848-63-4111

役場住民係 本庁☎65-3113 大崎支所☎64-3510
木江支所☎62-0300

◆年金手帳は大切に保管しましょう◆

国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料の納付状況などがこの番号で管理されます。年金手帳は、年金に関する様々な手続きに必要です。大切に保管してください。

海技免状更新講習を開催

海技免状及び小型船舶操縦免許証の有効期限は5年。

有効期間満了日の1年前から更新期間に入ります。

※海技士免状の所有者は5日前までに予約が必要です。

※小型船舶操縦士で、有効期限を過ぎた方の講習も行います。

講習日 1月30日(日) 13:30～(受付12:30～)

場 所 大崎上島開発総合センター

持参するもの 海技免状(操縦免許証)・本籍記載の住民票1通(海技免状の方)・写真2枚(4.5cm×3.5cm正面・無帽・無背景)・ボールペン・認印

※海技士の方は写真2枚(3cm×3cm)

料 金 小型7,500円(小型失効16,550円)、大型8,400円、送料別途必要(500円)

問社中国船舶職員養成協会 ☎082-255-8705

広島法務局竹原支局は東広島支局へ統合

広島法務局竹原支局は、平成23年1月31日(月)をもって、東広島支局に統合されます。

これにより、竹原支局で取り扱っておりました登記事務、戸籍・国籍事務、供託事務及び人権擁護事務は、統合先の東広島支局で取り扱うこととなります。

なお、全国の土地・建物や会社・法人の登記事項証明書及び会社・法人の代表者の印鑑証明書については、竹原市のご協力により、「証明書発行請求機」を竹原市役所内に設置する予定ですので、ご利用ください。

【統合先】 広島法務局東広島支局 ☎082-423-7707
〒739-0012 東広島市西条朝日町9-11



問広島法務局 民事行政調査官室 ☎082-228-5690

お詫びと訂正

広報「大崎上島」2010年12月号20頁「季語に親しむ」左から7番目の俳句の作者「倉本守子」は、「倉谷守子」の誤りです。お詫びして訂正します。

平成23(2011)年度入園・入所のご案内

保育所(ひかり園)

入所要件

- ◆保護者及び同居親族等が働いている
- ◆長期にわたる疾病にかかっている
- ◆家族の介護や看病をしている

上記理由等により、お子さんを家庭で保育できない場合

申込方法

福祉課等にある保育所入所申込書に必要事項を記入し、次の書類を添えて提出してください。

添付書類

- ① 平成22(2010)年分給与源泉徴収票、または確定申告書の写し(後日提出可)
 - ② 就労証明書(就労している方は勤務先での証明、自営業の方は民生委員児童委員の証明)
 - ③ 要保育申立書(②に該当しない場合に必要です)
- ※ 添付書類は父母とも必要です。

申込期間 1月11日(火)～2月4日(金)

申込・問合せ

福祉課 福祉指導係(木江支所) ☎62-0301
住民課 窓口係(本庁) ☎65-3114
地域振興課(大崎支所) ☎64-3511

幼稚園

◆大崎幼稚園

平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ

◆木江幼稚園

平成17年4月2日～平成20年4月1日生まれ

費用

入園料2,000円 保育料4,000円/月
預かり保育料3,000円/月 一時預かり300円/日

願書受付 1月12日(水)～14日(金) 各幼稚園にて

大崎幼稚園 ☎64-2110 木江幼稚園 ☎63-0304
教育委員会総務課 ☎64-2074

第30回大崎上島駅伝大会 参加チーム募集

大崎上島1周、30.37kmを10人(一般・高校・中学男子の部)で走ります。女子・ジュニアの部は9区間17.37kmを走ります。

日時 2月13日(日) 正午スタート

場所 大崎小学校グラウンド(スタート・ゴール)

申込期限 1月14日(金)

※参加費など詳細についてはお問い合わせください。

申込・問合せ

教育委員会社会教育課(大崎上島町体育協会事務局)
☎64-3055 町のホームページにも掲載しています。
<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp>

結成10周年記念 ヒダじんぼ Concert2011 featuringなぎ太鼓

日時 1月23日(日) 14:30～(14:00開場)

場所 大崎上島文化センター ホール「神峰」

全席自由 2,500円(当日3,000円)



「ヒダじんぼ」は、世界で最も有名なドラマーである神保彰(写真右)と、21世紀の太鼓界で最も斬新でエキサイティングな表現を試みる「TAIKOドラマー」

ヒダノ修一(写真左)によるスーパーユニットです。世界で認められている神保の演奏テクニックと、圧倒的なヒダノの太鼓サウンドとの出会いは、和と洋のリズムの融合を果たし、新しいパーカッション表現としてヨーロッパでも大絶賛され、世界中で注目を集めています。彼らの緻密な技術が奔放な作品を生み、最新のテクノロジーを駆使することによって民謡からロック、テクノまで、打楽器だけとは思えないポップでダンサブルなサウンドを弾き出します。今回は、地元の太鼓グループ「大崎なぎ太鼓保存会」とのセッションも行います。

大崎教育委員会 社会教育課 ☎64-3055

第9回ピアノリレーコンサート 開催

日時 1月16日(日) 12:00～(11:30開場)

場所 大崎上島文化センター ホール「神峰」



ヒット曲や童謡、クラシックまで幅広い曲を演奏します。全席自由・入場無料!

ぜひ、ご来場ください。

大崎教育委員会 社会教育課
☎64-3055

町営共同墓地使用者を募集します

場所 横浜霊園(中野字横浜)

貸付区画数 4区画

貸付価格 1区画(1.85m×1.85m) 15万円

貸付条件 大崎上島町に住民票又は本籍がある方。
※1世帯1区画に限ります。

申込期間 1月7日(金)～1月28日(金)

申込方法

所定の使用申込書により申し込んでください。

申込書は、本庁住民課及び各支所地域振興課に設置しています。なお、既に町営墓地の貸付を受けている世帯は対象になりません。

大崎保健衛生課(木江支所) ☎62-0303

月	日	曜	行 事 ・ 場 所	予防接種
1	9	日	出初式	三種混合Ⅰ期 1月11日(火)～ 1月15日(土) 【対象者】 3カ月以上 7歳5ヶ月以内
11	火		上島コスモス：木江保健福祉センター 10：00～13：00	
12	水		健康相談：木江会館 受付13：30～14：30	
15	土		絵本の読みかたり：情報プラザ・エル 10：30～ 役場木江支所2階修養室 14：00～	
19	水		断酒会：東野保健福祉センター 18：30～19：50	
21	金		育児相談：東野保健福祉センター 受付10：00～11：00	
27	木		1歳6ヶ月児・3歳児健診：木江保健福祉センター 受付13：10～13：30	
2	2	水	育児相談：大崎上島開発総合センター 受付10：00～11：00	
	4	金	健康相談：東野保健福祉センター 受付10：00～11：30	

休日当番医	1/9(日)	耳鼻咽喉科診療所	1月の診療日	竹原市休日当番医	内科 日曜・祝日 9：00～16：00 竹原市休日診療所 ☎0846-22-7157
	1/16(日)		8日(土)・22日(土)		外科 日曜・祝日 9：00～18：00 1/10・16・30
	ときや内科 ☎63-0001		受付時間 13：30～17：00		馬場病院 ☎0846-22-2071
	1/30(日)		診療開始 14：00～ ☎67-3311		1/9・23・2/6 安田病院 ☎0846-22-6121
	満岡医院 ☎62-0114				(注) 事前にお電話を !!

1月の納税・納期限は 1月31日(月)

町県民税(第4期)
国民健康保険税(第7期)
後期高齢者医療保険料(第7期)
介護保険料(第4期)

期間内の納付に ご協力を !!

口座振替をご利用の方は、残高の確認をお願いします。納期限までに納付を確認できない場合は、督促状を発送します。

☎税務課(本庁) ☎65-3114

第8回大崎上島町産業フェスティバル

すみれ祭り

今年は、例年より開催時期が遅くなります。

日 時 2月19日(土)・20日(日)
10：00～15：00

場 所 大崎小学校周辺

☎農林水産課(本庁) ☎65-3123





【竹原税務署からのお知らせ】

竹原税務署では、相続・贈与・譲渡所得に関する相談を実施しています。

1月の相談日は、**1月14日(金)**です。

相談には予約が必要です。事前に電話でご予約ください。

予約申込・問い合わせ先

竹原税務署 ☎0846-22-0485

※相談予約は、音声ガイダンスに従い、「2」を押してください。

1月生まれのわんぱくちゃん



1歳のHappy Birthday



すみとも あげ は
住友亜月葉ちゃん(向山区)



な す ひろあき
那須 広明ちゃん(向山区)



生まれ！わんぱくちゃん

3月に1歳の誕生日を迎える、町内にお住まいのお子さんの写真をお寄せください。宛先は、企画課または、各支所地域振興課。氏名(ふりがな)・生年月日・住所(地区名)・保護者名・電話番号を明記してください。期限は、2月1日(火)。

✉ kikaku@town.osakikamijima.hiroshima.jp

企画課 ☎ 65-3112

季語に親しむ

神峰俳句クラブ

母ありてこそその故郷や杳散る
いつまでの二人三脚根深汁
妹の命日ちかし霜の声

南風俳句会

病む母の気配背に冬厨
目を細め焼き芋を待つ野の園児
島の路地抜けて木枯し海に出る

木江神潮俳句会

ランナーの足のびやかや日脚のぶ
錦木の炎ゆ熟年の三姉妹
夜咄の茶事終わりけり冬椿

みゆき俳句クラブ

沖合の舟に声する小春かな
新米の飯の甘さよ母郷より
七五三夢のやうなる縁に会ふ

大崎荘俳句クラブ

湯豆腐や小さき鍋でこと足れる
時ならぬ黄砂の煽り冬紅葉
露草に囲まれてある野の仏

大崎美浜荘俳句クラブ

満開の菊とりどりに咲き乱れ
冴えわたる明石大橋神戸の夜
神峰へ瀬戸眺め行く紅葉狩

東野公民館俳句会

ふるさとの海辺を歩く小春かな
海光を一点にあび木守柿
忘れしフオークリフトや石路の花

編集後記

松の内が過ぎると、そろそろお正月気分から抜け出さなければいけません。

「せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ、これぞ春の七草」と詠われる春の七草が話題に上る今日は1月7日。そういうえば、お正月のお酒やごちそうで体もちよっぱり悲鳴をあげているような…一年の無病息災を願ひ、七草粥でも食べてみようか。お正月のごちそうと、がらりと変わった粗食で疲れ気味の体も喜ぶだろう。



発行日 2011年1月7日(金)
発行・編集 大崎上島町企画課
〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1
☎ 0846-65-3111(代)
HPアドレス <http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp>